

第三回推進会議における議論のまとめ

1 基本目標について

基本目標「子どもたちが本に親しみ、夢や希望を持ち、未来を切り拓く力を育めるよう、発達段階に応じた読書環境の整備を推進します。」の文言の整理。

会議中の主な意見

- ・「発達段階に応じた」という表現は、新しい計画に合わないのではないか。
- ・「環境の整備を推進します」は取組であり「子どもたちが本に親しみ、夢や希望を持ち、未来を切り拓く力を育む」が目標ということであれば、文章の順序を入れ替えると、目標らしくなるのではないか。

結論 「自ら読書に親しみ、夢や希望を持ち、未来を切り拓く子どもたちの育成」

2 地域でのアウトリーチの方策について

アウトリーチの方策として「まちライブラリー」への支援が考えられるが、図書館としてどのような支援ができるかの検討。

会議中の主な意見

- ・まちライブラリーへのアウトリーチよりも、ボランティアの需要と供給のミスマッチについて考えるべき。
- ・その他のアウトリーチとしては「子育てのひろば」のような子育て支援施設への支援が考えられる。

結論 ・よみきかせ等ボランティアと施設のマッチング事業（新規）
・地域施設へのアウトリーチの充実（新規）
→子育てのひろばや児童館等、子育て支援施設など

3 日本語を母語としない子どもへの読書支援について

子ども日本語教室への支援として、図書の貸出等を考えているが、それ以外の支援として、図書館にはどのような役割が期待されているか。

会議中の主な意見

- ・日本語教室や学習支援と組み合わせて支援していくとよいのではないか。
- ・NPO やボランティアグループと連携するとよいのではないか。
- ・来年度、電子書籍の導入が始まるので、外国語の書籍も入れるとよい。

結論 ・「こども日本語教室」との連携（新規）

※外国語の電子書籍については今後検討

4 経済的な支援が必要な世帯の子どもへの読書支援について

現在は子ども食堂への支援を考えているが、このほかに経済的な支援が必要な世帯への子どもに対し、どのような支援が考えられるのか。

会議中の主な意見

- ・図書館だけでなく、幼稚園や児童館など様々な施設でいつでもおはなし会などの文化的な機会に触れられることが大切ではないか。
- ・学習支援の大学生ボランティア等と連携できるのではないか。

結論 ・子ども食堂・中3勉強会など居場所を必要とする子どもに向けた読書活動支援（新規）

5 その他

（1）図書館サービスの充実について

- ・館内で声を出してもかまわない時間帯やスペースの設定（おしゃべりタイム）
→11月3日（日・祝）、24日（日）に光が丘図書館でグループ学習室を試行
- ・図書館コンシェルジュサービスの導入検討